

2014年8月7日・8日

金沢大学経済学類オープン・キャンパスで在学生代表としてお話しした私達が皆さんの質問に答えます！



目 次

1. 受験勉強について … 2
2. 大学での学びと学生生活について … 4
3. 推薦入試について … 13
4. 留学について … 15
5. インターンシップとボランティアについて … 21

注意：下記の内容は2014年9月時点のものです。よりよい体制を整えるために、大学は常に改善・改革を行っています。特に、入試制度やカリキュラムについては、必ず、最新の情報を確認ください。

入試情報

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>

経済学類のカリキュラムについて

<http://econ.w3.kanazawa-u.ac.jp/outline/curriculum.html>

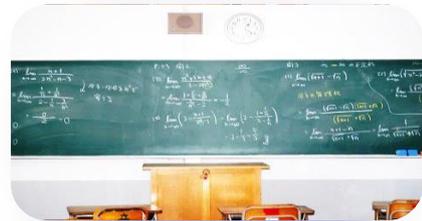
1. 受験勉強について

回答者 N(1年生)

受験勉強の記憶が最も鮮明に残っている1年生のNがお答えします。

Q. 入試ではどのような教科が必要ですか。

A. センターでは国、数、英、社(倫政・地歴)、理科2科目と全てが必要になってきますので、苦手科目をつぶす方が良いと思います。また2次試験(前期日程)では国語、数学、英語の3教科が必要になります。後期日程では、英語のテキストを読んで、それについて日本語で答えるという小論文が課せられます。



Q. 経済学類受験に数学は必要ですか。

A. 必要です。センターでもIA、IIBが必要ですし、二次試験(前期日程)でも数学は必須科目です。

Q. 経済学部に入学するには、どんな教科を頑張って勉強すればいいですか。

A. 基本的にはセンター試験で点数を取る必要があるのですが、どれもまんべんなく基礎を身につけたほうがいいです。得意教科を伸ばすよりも、苦手教科を伸ばす方が点数は伸びやすいので、今のうちから苦手つぶしをしておきましょう。また英語、国語、数学は二次試験でも必要となってくるので、筆記で対応できるよう対策を練ったほうが良いと思います。

Q. 数学が苦手でも経済学を学ぶことはできますか。

A. できますが、数学は使うので、苦手意識があれば少しずつ得意になるようにしたほうが後々楽かもしれません。ですが、数学ができないからといって経済学が学べないわけではないので安心してください。

Q. 高校時代にはどれくらいの勉強時間でしたか。

A. 私は忙しい部活に所属していたので1~2年生時には平日は一日2時間が精一杯でした。基本的に学校で課される予習復習課題をこなしているだけでした。高校3年生の部活が終わってからは、平日は4時間~6時間が普通でした。



Q. どうやって進路を決めたのですか。

A. 私は親・先生と相談した上で自分はどんな勉強がしたいかを考えて、最終的に自分で判断しました。大学のパンフレットなどを取り寄せて、各大学の特色を調べるといいと思います。

Q. 金沢大学を志望した理由は何ですか。



A. 私の場合は、金沢大学という大学名に憧れたのと、学類を超えて勉強できるスタイルに興味があったため、この大学を志望しました。

Q. 受験勉強ではどのようにモチベーションを維持したのですか。

A. 自分の実力より少し高めめの大学を第一志望校に決めていました。勉強は疲れてしんどいものですが、必ず自分の糧になると考えて勉強をしていました。高校3年の一年間でぐっと成績は伸びるので、模試の結果が悪かったとしても決して諦めてはいけません。また前向きで意識の高い友人と話すこともやる気の維持につながります。

Q. 高校時代の勉強法を教えてください。

A. 私は学校の先生の言葉をひたすら信じて、予習復習と課題だけはしっかりこなすようにしていました。普段の勉強の積み重ねだと思えます。あと、英単語は毎日少しずつ覚えたほうがいいです。

Q. 高校時代には部活と勉強をどのように両立させていましたか。

A. 私は全国大会やコンクールを目指すような文化部に所属していたので、部活はとても大変でした。少し特殊かもしれませんが、ちょうど学期末試験と部活の多忙な時期が重なっていたので、その時期は死にそうぐらい体調が悪かったのを覚えています(笑)。部活と勉強の両立は大変でしたが、その時自分が熱を入れたいほうに力を注げばいいと考えました。もちろん、ある程度まではきちんとやる必要がありますが、両方を100%やるのは大変ということもあると思います。私の場合、部活が忙しい時期は休み時間も勉強するなど、家であまりだらけないように心がけて勉強していました。

Q. 高校のうちにやっておくべきことは何でしょうか。

A. 高校生活を精いっぱい楽しむことです。高校を卒業してしまった身からすると、高校生って本当に青春していて楽しかったなという感情が芽生えます(笑)。文化祭や体育祭、球技大会など、みんなで協力してやる行事は高校生ならではの醍醐味だと思います。その時に、自分から楽しむ、精一杯やっていた方が、大学生になってからも絶対に心に残ります。



Q. 大学受験に向けていつから勉強を始めましたか。

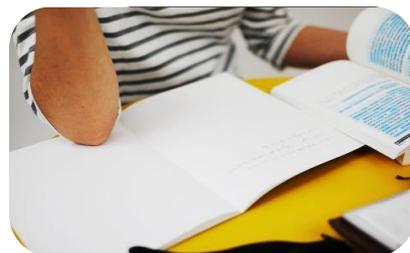
A. 受験を意識して勉強を始めたのは3年生からです。

Q. 金沢大学に行くことと決めたのはいつ頃ですか。

A. これは個人差がありますが、自分の場合はセンターが終わって一週間後ぐらいです。恥ずかしながら、第二志望の大学をよく考えていなかったため、大学のことを調べるのに一週間、時間をつぶしてしまいました。なので、大学を決定する際は、第二、第三志望の大学まできちんと考えておいたほうがいいです。

Q. どんな受験勉強をしましたか。自分は英語が苦手ですがどのような勉強をすればいいですか？

A. 私はひたすら、学校の補講・塾の講義で出されたプリントを何回も解き直していました。ノートに間違えた問題だけ貼っていき、自分の苦手なところがわかるようにしていました。夏休みに一回、赤本を解いておくと、自分との実力差がわかっていいかもしれません。英語が苦手ということですが、私も英語が一番苦手でした。私の場合、まずセンターで英語の点数が取れるようにセンター長文の速読練習、単語暗記、熟語暗記など基礎的なものから固めました。2次試験には英作文も課されるので、2次試験を意識するなら英作文対策を高校の先生にお願いして添削してもらおうと力が付くと思います。



2. 大学生活一般 & 大学での学びについて

回答者 N(1年生) & I(3年生) & T(3年生) & I(4年生) & H(3年生)

まずは1年生のNがお答えします。

Q. サークルは楽しいですか／サークルで一番楽しかったことは何ですか。



A. もちろん、サークルはとても楽しいです。活動頻度・内容はサークルごとに違いますが、基本的に入学直後の新歓などで先輩の話を聞いて決めることができるので、自分に合ったサークルを選べると思います。一番楽しかったことは、私の場合、軽音サークルに参加しているのですが、そこでの新入生ライブが一番楽しかったです。初めて人前で曲を発表した時は緊張しましたが、良い思い出です。

Q. サークルと部活の違いは何ですか。

A. サークルは基本的に自由参加ですが（ルールや規則など、サークルによってはあるかもしれませんが

が)、部活は活動の時間帯が決まっており、サークルよりは真面目に取り組む傾向にあるようです。

Q. 大学生活の一番の楽しみは何ですか。

A. 人それぞれ、授業やバイト、サークルなどいろいろあると思いますが、私の場合は友人とご飯会をしたり、手料理でパーティーを開いたりすることです。先日は友人の家で手巻き寿司パーティーをしました。こういったことも大学生活ならではの楽しみです。

Q. 大学内の雰囲気はどんな感じですか。

A. 大学内は活気にあふれています。お昼の食堂などは学生で混雑していて、とても賑やかです。



Q. 金沢大学の不便なところはありますか。

A. やはり山の上にあるので、簡単に忘れ物などを取りに帰ることができないのはちょっと不便かもしれません。また、バスの混雑時にはバスに乗れないこともたまにあるので、早めに行動することが必要になってきます。

Q. 一人暮らしは大変ですか。

A. 一人暮らしは確かに慣れないことばかりで、最初は大変でした。高校生の時まで家事全般を母親に任せきりでしたが、それを全部一人でやらなければいけないので、独り暮らしをして改めて親のありがたみを感じました。料理も洗濯も掃除も慣れてしまえば楽しくなってきます。私は自炊のレパートリーを増やすことを目標に頑張っています。

Q. 大学でどのような一日を過ごしていますか。

A. 講義がある日は、友達と一緒に講義を受けます。一日4コマの時もあれば、一日1コマしかない時もあります。講義が終われば徒歩で帰宅し、時間がある時はイオンに買い出しに行き、食材を調達します。夕飯を作って、食器を洗い、お風呂に入った後は完全に自由なので、勉強をしたり読書をしたりテレビを見たりします。時間がたくさんある時は、友人と街まで買い物に行きます。

Q. 授業がない日は何をしておこなっていますか。

A. 人によって違うと思いますが、サークル、買い物、遊びなど自由に使うことができます。私の場合は、最初の頃は金沢をよく知らなかったなので、よく散歩をしていました。歩いて金沢駅まで行った時はとても疲れましたが、街のことをよく知ることができて楽しかったです。また、金沢は兼六園や金沢城など、観光スポットがたくさんあるので、よく足を運んでいます。



Q. 大学に入学して一番大変だったこと・辛いことは何ですか。

A. 大学の講義形態に慣れることです。高校とは違って大学では自分で講義を選んで履修するというスタイルで、座席も決まっていません。高校のきちっと決まった授業に慣れていたので、最初はこの自由な講義スタイルに慣れるのが大変でした。でも慣れれば学生の自主性に任される大学の講義形態は、自由と責任を伴うすごくいいものだと感じるようになっていきます。

辛いことは、地元ですぐに帰れないことでしょうか。私は太平洋側から来たので、最初、誰も知り合いがいない状況からスタートしました。最初は友達ができるか不安で、そんなとき家族や友人に会いたいと思ったのですが、すぐに会うこともできず、辛かった時期もありました。今は素晴らしい友人に恵まれ、充実した毎日を過ごしています。

次に1（3年生）が回答します。

Q. ゼミの魅力とはなんですか。

A. ゼミの魅力は議論できることです。通常の講義科目では、その内容を習得したり、課題に励んだり、個人的な学びが主になりますが、ゼミでは同じ文献やテーマについてゼミ生全員が話し合うことができます。そこで自分とは違う考えに巡り合ったり、自分の考えの欠点を確認できたり、考えを深めることができます。このように、議論を通して自分の見解が



深まることがゼミの一番の魅力であると思っています。

デカルトは「我思う、故に我在り」と言いましたが、自分なりの見解をもつことは自分を知ることであり、自分の存在を感じる基盤にもなります。自分はどのような考えをもっているのか、自分は何を重視しているのか、なぜそのような考えをもっているのか。それらを知ることが出来ることは、自分のアイデンティティを確立する上で決定的に重要です。それができるのがゼミという場です。

Q. 経済学類では数学の力がどれくらい必要ですか。数学が苦手だと入学後、ついていけませんか。

A. 数学が苦手でも大丈夫です。私が見聞きする限りでは、数学が苦手な人でも、サークルの先輩や友達に聞いたり、友達と協力したり、教員に質問したりして乗り越えています。経済学類は人数が多く、3年のゼミが決まるまでは決まったクラスもありませんから、数学を通して友人の輪を作ってみてもよいのではと思います。

金沢大学の経済学類は経済理論や経営論などを垣根なく学べますし、数学をあまり使わずに経済、社会について学び考えることも可能です。数学が苦手であれば学類共通科目の数学系科目を周囲の力を借りながら乗り越えて、その後は数学と繋がり薄い分野を楽しんだらよいと思います。もちろん、数学を分析手法として活用できれば学びの範囲は広がりますので、得意なことに越したことはないと思います。数学の参考書もたくさんあるので、その力を借りるのもよいと思います。

Q. 効率の良い勉強方法について教えてください。



A. 人間の身体の仕組みを理解した上で勉強するのが良いと思っています。朝は寝ている間に記憶が整理され、思考が複雑に混線しておらず、思考がクリアですから、朝の時間は有効活用すべきだと思います。集中力が必要なことや強化科目には午前の濃密な時間を使ったらよいと思います。

暗記科目については、何度も刷り込むことが重要であると思うので、グッと集中して覚えるのと、何度も確認して覚えるのと、両方の勉強法を平行して繰り返せばよいと思います。寝る前に暗記して、起きてから改めて頭の中に入れるのもよいと思います。

暗記系はオレンジ色のペンで覚えたいことを書いて、赤シートで隠して覚えていくのがお勧めです。私は今もやっています。大学の共通教育科目で「身体運動心理学」という講義を受講したのですが、技能を身に着けるにあたって、学習内容をA、B、Cの3種類とすると、短期的なパフォーマンスが良いのはA A A B B B C C C、その次にA B C A B C A B C、のような単調な反復学習だが、A B C C B A B A Cのようにランダムに学習した方が長期的なパフォーマンスは良いという話を聞きました。勉強も一つの技能と考えると、ランダムに勉強内容を選択していった方が長期的な成績向上が見込めるということではないかと思っています。

また、成長曲線にも直線的なものから、伸びてから一度停滞したり、一度下がったりしてから上昇するなど、様々ありました。頑張った分に比例して常に成績が右肩上がりで見える結果になって現れなくても、焦ったり落ち込んだりせずに努力を続けていると最終的にその努力は結果となって現れます。

以上、その時その時のご自身の状況や「これなら今、集中できる」という気分的なものも重要であると思いますので、参考程度に捉えていただければと思います。

Q. 勉強とアルバイトやサークルはどうやって両立していますか。

A. アルバイトと学校生活について頂いた多くの質問を総括して以下、お答えします。

私は現在、週に2回、土日にアルバイトをしていて(夏・冬・春休みを除く)、平日は学業に集中しています。アルバイトは実社会を体験し、社会的な場面での立ち居振る舞いを習得するためには有効であると思いますが、企業の中には成績証明書の提出を要求するなど、成績を重視するところもあります。あまりに学業成績が悪いと就職に響くケースもあると思うので、やはり学業を第一にすべきであると思います。

ある企業の方の話では、「高校生と変わらない程度の大学生は採りたくない」とのことでした。また、先輩の話でも、アルバイトを数多くこなしているというのは好評価には繋がらないそうです。実際の生活サイクルをシミュレーションしてみて、実現可能な範囲でアルバイト、サークルを楽しんだらよいと思います。

また、一年生の前期は大学生活に慣れることに集中したらよいと思います。オープン・キャンパスで皆さんとお会いした学生メンバーも(私も含めて)一年の夏休みから始めた人が多いです。可能であるなら時間のある夏休みにアルバイトを始めるのがお勧めです。段階を踏んで活動範囲を広げていけば良いのではないかと思います。

Q. 親への説得の仕方を教えてください。

A. 具体的にどんなことに悩んでいるのかがわからないので、見当違いのことを言うかもしれませんが、ご容赦ください。また、私個人の話を選べて一般論になることもご容赦ください。

高校生の頃は、自分の感情に支配されることが多いと思います。たぶん、あなたは自分の強い願いを親御さんが理解してくれない、という状況ではないかと推察しますが、親御さんはあなたの願いをわかっていないわけではないと思います。親御さんとしては、願いを叶えてあげたい以上に心配の方が先立ってしまうのではないのでしょうか。それは親御さんの愛情であり、当然のことだと思います。

最終的に資金援助をしてくれるのは親御さんであると思いますから、親御さんの主張に耳を傾けることも必要だと思います。仮にあなたが遠い場所に行き、病気になった時、誰かすぐに駆けつけられるでしょうか。願いが叶った時にあなたが直面するであろう様々な事態を考慮に入れることも必要だと思います。

まずは親御さんが反対している理由を聞き、それを乗り越える覚悟を示すとか、親御さんの心配を吹き飛ばすための具体的な方法を親御さんと相談して考えるとかが必要だと思います。とにかく、希望理由・反対理由それぞれの真剣な検討と、それらを踏まえた冷静で粘り強い話し合いが必要であると思います。親御さんも納得の上であなたの願いが叶うことを祈っています。がんばってくださいね。

次にT（3年生）が回答します。

Q. マーケティングや企業での商品企画などもやりたいのですが、どのコースが一番良いですか。また、ゼミではどのようなことを深く学べますか。

A. 分野で言えば「経営・情報コース」が適切だと思いますが、金沢大学経済学類ではコースにかかわらず経済系・経営系全ての講義を選択し、受講することができます。ですから、どのコースに所属していても、経営に特化した講義を受けることは十分可能です。

また、ゼミでは少人数によるディスカッションもあるため、受け身となりやすい座学だけでなく、座学で得た知識を自分の言葉で相手に伝える、議論をするなど、より実践的な学びができます。



次にI（4年生）が回答します。

Q. 講義の時間割はどうやって決めるのですか。

A. 時間割の他に、それぞれの講義内容を詳しく説明してくれるシラバスがありますので、それを参考に決めます。履修したい講義の時間帯が重複していることがよくありますので、取舍選択する必要があります。また、学類で定められた卒業単位を満たすために履修する講義の優先順位をつける必要もあります。

Q. 経済学類は数学が必須だと思いますが、英語も重要ですか。

A. もちろん英語も重要です。英語を使える方が在学中のみならず、社会に出ても刺激的な経験ができる可能性が広がります。皆さんは高校卒業までに文法や単語、イディオムなどの知識を山ほど頭に詰め込んでおり、英語の基礎はかなり固まっているはずですから、大学では英語の実用能力を鍛えてほしいと思



ます。つまり、英語によるコミュニケーション能力です。

英語の検定・資格も英語力の指標として重要ですが、それよりも、英語の授業を積極的にとったり、留学生と積極的に関わったりする方が、使える英語を身につける上では重要なのではないかと思います。金沢大学にはそのための環境が整っているのが僕には気に入っています。

Q. 全国の様々な地域を調査した結果をどのように生かしているのか、具体的に教えてください。

(解説：地域経済論ゼミに所属する回答者が、ゼミの研究活動の一貫として全国各地を訪問して地域経済の実態を研究していることをオープン・キャンパスで話しました。それに関する質問への回答です。)

A. 実際にその地域で働いている方々に対するヒアリングに加え、ゼミ内での報告など、とにかく人と話す機会や成果を報告する機会、調査について相談したり議論をしたりする機会がたくさんあります。その中で、知りたいことを会話の中からどのように引き出すか、どうすれば調査結果をわかりやすく伝えることができるか、仲間と議論しながら調査と論文の執筆を行うにはどうしたらよいか、などを考えるたいへん良い機会になりました。私自身、いずれにおいてもまだ改善の余地がありますが、こうした調査を通じて得られたこれらの能力が、仕事をする上で重要だということも感じました。自分の課題を発見する力がついた事が一番の収穫だったのではないかと思います。



Q. 就職支援について、どんなサポートがあるのですか。

A. 就職支援室というところで支援が行われます。就職活動についてのガイダンス、個別の進路相談、提出書類の添削、面接練習などをしてくれます。金沢大学は就職支援体制が充実しているのですが、特に経済学類は就職支援専門の先生がおられてきめ細やかに対応してくださるので非常に心強いです。

Q. (太平洋側在住の生徒さんからの質問) 北陸の気候はどんなものですか。

A. 一年を通して比較的、曇や雨の多い気候です。12月の終わり頃から雪がちらつきはじめ、1月の終わり頃には10~20センチ程度の雪が積もることがあります。ただ、金沢は「雪国」というほど大して雪は降りません(たまに大雪が降る年もあるようですが滅多にありません)。雪の降らない地方からくると最初は少しの雪にも戸惑いますが、雪道での歩き方、雪道での運転のコツ、雪が降った朝に必要なことなど、すぐに覚えて慣れますよ。それに兼六園や武家屋敷、茶屋街の雪景色は息を呑むほどの美しさです。



Q. 実家から遠い大学に行くことに対する抵抗感はありませんでしたか。

A. 私の場合、実家から離れることに抵抗はありませんでしたが、気候の違う土地に住むことに不安を感じていました。しかし、友達や先輩から冬に気をつけるべきことを聞き、実践して慣れてしまえば苦労はありません。環境の違いを楽しむことができます。時々、寂しさを感じることもありますが、一人暮らしは人生勉強になります。一日の時間をどう使うか、自分の部屋をどのように使うか、毎日の家事をどのようにこなしていくか、など、一つ一つ考えて自分の力で自分の生活を良くしていく力が身に付きます。その結果、家族の有難味が年を追うごとにわかってきます。

ここからはH（3年生）が回答します。

Q. 家が福井県にあるのですが、家から通うことはできますか。

A. 場所によります。福井県でも嶺南から通うのは遠すぎます。嶺北については、福井市から通っている知り合いがいますが、通学だけで二時間近くかかるので大変だと思います。ですが、十分に可能です。

*教員による追記：以前、4年生になってから金沢のアパートを引き払い、嶺南地方の実家から週3日、自動車通学していたゼミ生がいました。4年生はゼミ以外、受講する講義があまりない場合が多いので、4年生になれば嶺南地方からの通学も可能ではあります。ただ、この学生の場合、地元での就職を希望していた（金沢で、また金沢から大都市圏に出て就職活動をする必要がなかった）ことも、自宅通学が可能であった要因であったと思います。

Q. 福井と金沢での違いでとまどったことはありましたか／福井から来ることの大変な点、利点などがありますか。

A. 僕の場合、特にとまどったことはありませんでした。金沢は近いので大学生になる前から来たことがあったのも理由の一つです。天候はほとんど変わりませんし、交通の便やお店の多さなど、あらゆる点で金沢は福井よりも便利だと思います。唯一感じたことは、福井弁をバカにされることです（笑）。

福井から来ることの利点は、もし「福井の自宅から通学することの利点」という意味なら、交通費を考えても家賃4万円程度のアパートで独り暮らしをするよりはお金がかからないことです。「福井から金沢に移り住むことの利点」という意味なら、気候風土に大きな違いがなく、金沢での生活に馴染みやすいことです。

Q. 福井と金沢ではどちらがいいですか。

A. 僕は福井の田舎に実家があるので、のどかで楽な福井が好きですが、金沢の方がやはり都会で便利です。



Q. 心理学は経済学の中でどのように役立ちますか。

A. 経済学を認知心理学でアプローチする行動経済学という学問があります。たとえば、金融などの授業でよく扱われる「バブル」というものがあります。「バブル」とは株価や地価などが異常に高くなり、その高まりが人々の興奮と不安を招き、一度価格が下がりだしたら止まらないという現象です。泡のように弾けることから「バブル」と呼ばれていますが、この現象が起きる背景には上述したように人々の心理が深く関わっています。このように、心理学に基づいた行動経済学は経済学的現象である「バブル」を理解するのに役立ちます。「バブル」について心理学的アプローチを紹介している本があるのでお勧めします。興味のある人は読んでください。

ロバート・J. シラー

『投機バブル 根拠なき熱狂 - アメリカ株式市場、暴落の必然』
植草一秀・沢崎冬日訳、ダイヤモンド社、2001年。



また、行動経済学をよりわかりやすく説明した本で大変面白かったのは次の本です。

ダン・アリエリー『予想通りに不合理—行動経済学が明かす「あなたがそれを選ぶわけ」』熊谷淳子訳、早川書房、2008年。

Q. 部活にはどのようなものがありますか。必ずどこかの部活に入らなければならないのですか。

A. 部活については金沢大学のホームページ URL を載せておきます。

<http://ghp.adm.kanazawa-u.ac.jp/archives/12.html>

部活あるいはサークルに必ず所属する必要はありません。大学では自主性を重要視しています。ただ、学校教育学類体育コースの推薦入学者は部活動をやらなければならないらしいです。

Q. 現在理系のクラス（物理・数Ⅲあり）にいるのですが、経済学類への入学は可能ですか。それとも文転したほうがいいのでしょうか。

A. 理系からでも経済学類への入学は可能です。僕も高校三年夏まで理系でした。ただ、金沢大学の経済学類はセンター試験で社会科二科目の受験が必要です。高校の理系クラスで社会科を二科目勉強しているところは少ないと思うので、その面では不利かもしれません。とは言え、僕の場合、地理Bと高校一年生の時に勉強した現代社会で受験して合格したので、社会科の科目のために文転する必要はないと思います。むしろ、理系の方が有利な面もあります。数Ⅲの知識は数Ⅱでも当然、使えますし、大学に入ってから数Ⅲの知識をそのまま使うことがあります。

僕は文系クラスに移りませんでした。社会科の受験が不安であれば先生と相談して文系のクラスで勉強しても良いと思います。でも、理系ならでは頭の使い方ができるのは経済学類に入学してから強みになると思います。

3. 推薦入試について

回答者 N(4年生、商業高校出身です)

Q. どれくらい成績が良ければ推薦入試が受けられますか。

A. 推薦入試を受けるためには、①商業科などの専門教育を主とする学科、あるいは総合学科で専門教育に関する一定の単位を修得した者(修得見込みの者)であること、②学内選考を通ること、が必須条件です。つまり、高校の学内選考を通るに十分な成績を3年の夏ぐらいまでに残す必要があります。

Q. 普通科高校なのですが、どのようなことに力を入れて勉強をすれば推薦を受けることができますか。

A. 普通科の方は推薦入試を受けることができません。

Q. 商業科でどのような検定を取っておくといいですか。

A. 一番お勧めするのは簿記です。可能であれば、高校時代に日商2級には一度チャレンジしてください! 大学入学後、周りに教えてあげられるくらいになっているのがベストだと思います。



Q. 推薦入試に向けた勉強方法を教えてください。

A. 私は金沢大学経済学類の推薦入試に備えて以下の受験勉強をしました。

英語の小論文に関しては、

- ①過去10年分の過去問を繰り返し解く、
- ②経済系の単語をひたすら覚える、
- ③経済・経営系の小論文問題が多く載っているドリルをやる(同時に文法学習の反復を行う)。

日本語の小論文に関しては、

- ①金沢大学の10年分の過去問題を繰り返し解く、
- ②他大学の推薦入試の過去問題を10大学以上解く。

面接に関しては、

- ①面接で訊かれそうな質問をまとめた面接ノートを作る、
- ②高校中の先生方に面接の練習をしていただく、
- ③時事問題を覚える、
- ④過去30年の日本経済の流れを覚える。



Q. 英語の小論文で配られる辞書は使いにくいですか。

A. 使いやすいとは言いがたいです。辞書は使わずに解く！というつもりでしっかり準備することが大切だと思います。

Q. 推薦入試の面接官は怖かったですか。

A. ぜんぜん怖くはなかったですよ！時々笑って下さる先生もいらっしゃいます！

Q. 推薦入試生は入学後、一般入試生と何か違うところがあるのですか。

A. カリキュラム上は何の違いもありません。あるとすれば、①転学類できないこと、②推薦入試生向けの英語の授業があること、の二点です。

Q. 推薦入試入学者向けの授業はありますか。授業が高度で、ついていけないことはありますか。

A. 英語については推薦入試生のための授業が開講されています。ここでは基礎から指導を受けられるのでとても良かったです。なお、経済学・経営学系の授業は普通科出身の学生も推薦入試の学生もスタートラインはほぼ同じです。授業を受けて置いていかれているな…と思ったことは一度もありません(ただし、授業は休まず出席することが前提です)。

Q. 普通科で習うような学習は経済学類では必要なかったのですか。

A. 必要です。ですから、推薦入試で入学した学生は普通科の学生より少し、余計に頑張らないといけません。でも心配ご無用！推薦で入った友達で単位が足りなくて卒業できない…と言っている友達は一人もいません！

Q. 普通科とは違った商業の授業を受けてきて、勉強の遅れはありましたか。その遅れをどうやって埋めたのか教えてください／推薦入試で大学に入って一番苦労したことはなんですか。

A. 入学当初は、確かに勉強の遅れがありました。特に英語と数学は一所懸命に勉強した方がいいと思います。しかし、努力次第でなんとでもなります。私は特に英語の予習復習を一所懸命に行いました。授業も周りの友達よりも多く取り、英語を学ぶ時間を増やして差を埋めるよう努力しました。一番苦労したことは、



上述したように、普通科出身の学生と英語・数学のスタートラインが違うことです。スタートラインが違うため、普通科出身の友達よりも一層、一から徹底的に勉強を行いました。特に英語については基本が出来ていることが入学後、重要になります。推薦入試に備えて英語を勉強すると思いますが、ぜひ入学までそれを継続して行ってほしいです。

Q. 商業科で学んだことは大学でしっかり役立つのか、教えてください。

A. 経済学類なら確実に役立ちます☆特に簿記は自信を持ってください！商業科で学んだことが最も活きるのが経済学類だと思います！入学までにしっかり勉強しておいてください！

4. 留学について

回答者 A (3年生) & H (3年生)

まずはA (3年生) が一般的な質問にお答えします。

Q. 派遣留学にお金はどれくらいかかりますか。

A. 留学先の授業料不徴収の条件で留学する場合、留学費用としては
宿舎費、食費等の生活費の他、交通・通信費、書籍代などが挙げられます。
留学費用の額は留学先の国・地域の物価や留学期間、為替レートによって
異なりますし、宿舎の種類（寮、アパート、ホームステイ等）や個人の
生活スタイルでも異なりますので、一概には言えません。留学先・期間を
絞れば費用はある程度、推計できます。また、往復の渡航費、旅行保険、
ビザや滞在許可取得の費用、TOEFLなど語学力検定試験の受験料やそのための交通費も上記以外に必
要になります。



Q. 金沢大学ではどのような留学支援をしていますか。

A. 主な支援にはアドバイジングとリファァ（紹介）があります。アドバイジングについては、留学に関心のある学生から留学目的・将来の希望を丁寧に聞いた上で、その人に適していると思われる国・大学の情報を提供し、留学準備や卒業条件を満たす履修の仕方を助言します。リファァについては、情報収集や学生生活の充実に役立つように派遣留学経験のある先輩、学内で会うべき教職員、学外の国際交流団体等を紹介しています。また、経済学類には国際交流支援専門の教員がいますので、上述した全学の支援以外にも、学類の教員からいろいろアドバイスを頂くことができます。さらに、上述したように補助金が支給される場合もあります。

平成27年度 派遣留学生募集！ [1次募集（秋募集）]

申込締切

平成26年10月8日(水)13:00まで

詳しくは、「募集要項(1次募集)」を参照のこと。
募集要項は各部署学務係、事務局4F国際機構支援室
留学生係で入手できるほか、金沢大学ホームページにも掲載しています。

金沢大学HPトップから
「派遣留学」で検索

金沢大学派遣留学HP
<http://isc.ge.kanazawa-u.ac.jp/peend/index.html>

問合せ先

国際機構支援室留学生係
TEL: 076-264-6193
E-mail: ryukou@adm.kanazawa-u.ac.jp
金沢大学

Q. 留学のための奨学金制度はありますか。

A. 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)のホームページには、海外留学のための奨学金のページがありますので、それを参考にしてください。

HPアドレスはこちらです。

http://www.jasso.go.jp/study_a/scholarships.html

また、金沢大学が窓口となって、さまざまな奨学金に応募可能です。た

だし、選抜されるかどうかはあなた自身にかかっています。

Q. ある程度の語学力は必要ですか／どの程度の語学力が必要ですか。

A. 派遣留学の場合は、原則として留学先の大学の授業についていけるだけの語学力が求められます。派遣留学の応募には語学力検定試験のスコア（たとえば英語圏ではIELTS, TOEFL）の提出が必要になります。また、協定校の多くは目安となるスコアを要求していますので、それをクリアすることが入学の条件となります。スコアの条件は協定校によって異なりますので、詳しくは入学後にお問い合わせください。



Q. 留学してどんなことを学べますか。

A. まず、英語圏に留学した場合は、留学先大学が提供する専門科目を学べます。たとえば、欧米豪の経済学・ビジネス系科目は本学より種類が豊富ですし、その国からアジア、あるいは日本の経済・文化がどう見られているかも学べます。また、大学によっては講義以外にチュートリアル（講義の理解を補助する授業）で発表したり、先生・学生と議論したりする機会もあり、英語でのコミュニケーション能力を養うことができます。また、日本語を学ぶ現地の学生との交流もできます。

非英語圏に留学した場合は、その国の言語科目の履修が中心になりますが、大学によっては英語あるいは留学先の現地語で開講されている科目も履修できます。

語学力や授業以外で学べることとしては、留学した学生たちは「異文化理解や適応力」、「自信、チャレンジ精神」、「広い視野」といった人間的成長を挙げています。

Q. 1年生のときから留学できますか。

A. 現行制度では、派遣留学の申し込みは10月から受付が開始され、それから選考や出願手続きが始まりますので、最も早くても1年終了後の春休み以降の留学となります。ただし、語学研修・サマースクールであれば1年の夏休みから留学できます。

Q. どのくらいの人が留学しに行きますか。

A. 経済学類から派遣留学生として留学する学生数はその年によって異なります。最も多い年は6名でしたが、1名のときもありました。ただし、派遣留学以外に、本学の短期語学研修プログラムや協定校のサマースクールに参加する人もいます。ちなみに2013年度は派遣留学が3名、語学研修が16名、サマースクールに4名が参加しました。これ以外に、休学して民間の語学学校やワーキング・ホリデーに行く人もいます。

Q. どんな国にでも行けますか／どんな国に行けますか。

A. 協定校留学であれば、本学の大学間協定校は、35 カ国・1 地域の 134 機関（2014 年 4 月現在）です。その中で協定が継続して学生交換の覚書を締結している国の大学に行けます。詳しくは、協定校を紹介しているページをご覧ください。

金沢大学の協定校一覧 HP アドレスはこちらです。

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_kyoryoku/exchange/daigakukan/daigakukan.html

もちろん、個人の努力やネットワークを利用して、または民間業者の仲介などを通じて協定校留学という形をとらない留学やインターンシップに参加する人もいます。

Q. 留学するのに一番いい国はどこですか。

A. 留学の動機・目的は人によって様々ですので、一番いい国も人それぞれと思われます。また、語学力・適応力・経済力も重要ですので、それらを考慮して留学先を選ぶとよいでしょう。

Q. どの国に留学する人が多いですか。

A. 経済学類の学生については、経済学・経営学の科目が充実している大学が人気です。たとえば、イギリスのリバプール・ジョン・モアズ大学やアイルランドのダブリンシティ大学です。



Q. 金沢大学経済学類では、外国語科目は何種類の中から学ぶことができるのですか。



A. 金沢大学では 2014 年 8 月 8 日現在、英語、ドイツ語、フランス語、朝鮮語、中国語、スペイン語、ロシア語、ラテン語、ギリシア語の 9 言語の講義が開講されています。この中から自由に言語を選択することができますが、経済学類の卒業要件に含まれるのは 2 言語 16 単位までです。

Q. 第二外国語は何がおすすめですか。

A. 大学へ入学後、自分の興味や関心、将来やりたいことに合わせて選択すればいいと思いますが、英語・朝鮮語・ドイツ語・中国語を履修した私の個人的な意見としては、中国語をお勧めします。現在、中国の人口は世界で最も多いことに加え、中国系移民は世界各地に存在すること、日本企業と中国の関わりが深いことから中国語を学ぶ意義は大きいと感じます。また、中国語は漢字を用いる言語なので、日本人が学ぶ際にアドバンテージがある言語であり、習得しやすい言語だと考えられます。

Q. 留学生宿舎について教えてください。

A. 学生・留学生宿舎「先魁」（さきがけ）は金沢大学の角間キャンパス内に存在し、2 名の日本人学生

レジデント・アドバイザーと留学生6名、計8名が1ユニットを共有して生活します。先魁には世界各国から訪れた留学生と日本人学生が生活をともにする、国際的な空間が広がっています。詳細は金沢大学のホームページを参照して下さい。



先魁のアドレスはこちらです。 <http://ghp.adm.kanazawa-u.ac.jp/archives/196.html>

最後に、留学について参考になるホームページを紹介します。

【金沢大学留学生センター 派遣留学の手引き】

アドレスはこちらです。 <http://isc.ge.kanazawa-u.ac.jp/jp/send/index.html>

【独立行政法人日本学生支援機構 海外留学情報】

アドレスはこちらです。 http://www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info.html

また、金沢大学経済学類の「グローバル人材をめざして」も併せてご覧ください。
アドレスはこちらです。 <http://econ.w3.kanazawa-u.ac.jp/pickup/message.html>

次に、ドイツに留学予定のH(3年生)がお答えします。



Q. ドイツ留学にはどれくらいの費用がかかりますか(一ヶ月、半年、一年)

A. 金沢大学の留学には一ヶ月間の短期語学研修、半年間・一年間の派遣留学の制度があります。僕の一年間のドイツ留学の費用では、給付型の奨学金制度を利用します。給付型というのは奨学金としてもらったお金を返さなくても良いということです。奨学金制度は大学からのものは少ないですが、民間の企業、団体、国、地方自治体などの制度が多数あります。僕の場合は兵庫県の財団法人から月15万円給付いただけることになっています。この奨学金の対象になるためには学業成績と集団面接が必要でした。また、留学終了後にレポートの提出が義務付けられています。なお、制度によって課されるものは違います。

奨学金制度を使わない場合、自費での留学になりますが、留学する地域によってかかる費用はまったく違います。ヨーロッパの場合はアジアに比べて物価が高いのでその分お金はかかります。一年間留学する

ことを考えて全て合わせると 100 万円はかかると思います。ですが、僕の知り合いには二年間のバイトでその金額を貯めて留学する予定の人もいるので、自分の努力次第だと思います。

Q. ドイツ留学以外に行ける国は他にどこがありますか。

A. アジア圏、ヨーロッパ圏、オセアニア圏、北米など様々な国に留学することができます。金沢大学のホームページに詳しく載っているのでご覧ください。

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_kyoryoku/exchange/daigakukan/daigakukan.html

Q. 一年間留学するために必要なこと、行くにあたってどのようなサポートがありますか。

A. 一年間留学するのに必要なことは、お金のことを除けば特にはないと思います。言語が好き、あるいは将来、海外で仕事をしたいという目標など、やりたいことがあった上で留学する方が良いですが、留学してから見つけるのも一つの道だと思います。

ちょっとでも海外で生活してみたい、日本語以外の言語を通じてコミュニケーションをとってみたいという気持ちがあれば留学してみれば良いと思います。人生の中で必ず忘れられない経験になるということは保証します。

また、サポートについては、派遣留学であれば大学の留学生係の人達が様々な手配をしてくれて、相談にものってくれるので、僕の場合、留学が決まっても心配することはありませんでした。

Q. 金沢大学は留学をしやすい環境ですか。

A. 金沢大学は留学をともしやすい環境です。あとは自分が勉強する気持ちがあるかどうかです。半年間、一年間の長期留学だけではなく、夏休み・春休みを利用した約一ヶ月の語学研修制度があります。これも多数の地域の中から選ぶことができます。日本人 20 人程度で海外へ行くので安心して楽しめます。費用もアルバイトでお金を少し溜めれば行ける金額なので行き易いです。留学を迷っている方はぜひ行ってください。

Q. ドイツ留学ではドイツの経済を学べるのですか。

A. できます。ドイツで経済学を学ぶことは僕の主な留学目的の一つです。



Q. 留学で海外に行くからこそできる経済・経営の勉強があるのですか。

A. 経済学、経営学という学問は日々、進化しています。新しい理論、知識の発信源は分野によって異なりますが、新しい知識や流行りの最先端の理論を学びたければ、その地域に留学することの意味は大きいのです。また、日本を外から見ることによって海外の日本経済に対する評価などを客観的に見ることもできるという点でも、経済の勉強になります。

Q. 留学について不安なことはありますか。

A. オープン・キャンパスの間、この質問をたくさんもらいました。僕は不安ではなかったのですが、皆さんに質問されまくったので少し不安になってきてしまいました…笑。語学の面、日本とまったく違う文化の中での暮らしなど心配なことはありますが、それよりも楽しみの方が大きいです。

Q. 留学するのに必要な最低基準はあるのですか。

A. 金沢大学の派遣留学制度で留学する場合、言語学習面での最低基準はあります。特に英語圏は競争が激しく、TOEFLやIELTSなどの国際試験で大学の指定する水準の点数をとる必要があります。

Q. ドイツ留学を一年間すると、金沢大学で一年間留年しますか／留学しても単位はとれるのですか。

A. 僕の場合は一年間留年します。ですが、派遣留学には単位互換制度というものがあ、留学先の大学で修得した講義の単位が金沢大学の卒業単位に組み込めることもあります。これを使って卒業に必要な単位を取り終えることができれば、一年間留学しても留学を含めた四年間で卒業することはできます。

Q. 一人で留学するのですか。

A. 留学というのは自分一人でするものです。

Q. 留学は何年間できるのですか。

A. 金沢大学の派遣留学でできる留学は最大一年間です。ただし、人によっては短期・長期あわせて複数回留学する人もいます。

Q. 留学にはどのような人が行けるのですか。

A. 留学に適性はなく、留学したいと思った人が留学に向いている人であると思います。人付き合いが苦手な人、口下手な人は留学に不向きと一般的に思われているようですが、そういうタイプの人「自分の殻を破りたい」と留学して人間的に大きく変わるという例もあると思います。

Q. 留学の行き先やタイミングは自分の希望どおりに行えるのですか。

A. 留学先は自分で行きたいところを選ぶことができますが、そこに行けるかどうかは勉強次第です。留学のタイミングですが、一年生で留学には行けないと思います。派遣留学制度ではそのようになっています。二年生以降でしたらいつでも行くことはできますが、留学先の国によって春入学か秋入学かは異なります。

Q. 海外に留学するときはその国の言葉を話せるようになってから行きますか。

A. 「話せる」というのはどの程度なのか、人によって基準が違いますが、英語ではなく第二言語で留学する人の多くはあまり話せない状態で留学します。僕は、ドイツ語の勉強はもちろんしていますが、今は満足に話せる状態ではありません。現地で話せるようになるのではないかと考えています。

僕のゼミの先輩でフランスに一年間派遣留学した人がいますが、先輩は帰国後、フランス語がペラペラ

になっていて、フランスから金沢にやってきた視察団の通訳をしたり、フランスでのインターンシップに参加したりしていました。僕もその先輩のようにドイツ語がペラペラになれるように頑張ってくださいと思っています。



Q. ドイツ語を覚えるのは難しかったですか。



www.shutterstock.com - 23893426

A. ドイツ語の文法は英語よりも型にはめなければなりません。覚える量は英語よりも多いと思いますが、頭に入ってしまうえば単語を型通りに並べるだけです。ドイツらしく固い感じはしますが、勉強しやすい言語の一つだと思います。

Q. なぜドイツ語を選んだのですか。

A. 一年生の時に本当はフランス語を学びたかったのですが、ソフトテニスの授業とフランス語がかぶってしまっていて、仕方なくドイツ語を選んだのが理由です（笑）。それでも今はドイツ語が気に入っています。

【インターンシップとボランティアについて】

回答者 T (3年生)

Q. 「インターンシップ」とはなんですか。

A. インターンシップとは学生が一定期間、企業や役所、地域、外国などで研修生として就業体験を行う制度のことです。1日~2週間程度の、用意されたプログラムに沿って行うものが多いですが、期間が2ヶ月以上で、内容も実際のビジネスの現場により近い「実践型」というジャンルもあります。また、金沢大学の経済学類ではインターンシップが単位として認められる制度も用意されています。

Q. インターンシップの行先は大学から指定されるのですか、自分で選択できるものなのですか。

A. インターンシップ先は全て研修者本人の意思で選びます。ただし、希望者が多ければ選抜試験がありますから、自分の意思で選んだところに必ず行けるわけではありません。また、大学からの紹介があるものや、単位が認められるものもあります。そうしたものを選ぶかどうかは全てあなた自身の選択です。

Q. インターンシップをすることで何が学べますか。

A. 大学の中にいるだけではわからない企業や地域、海外の実状、現場を自分の目で見ることができ、その良し悪しを判断することができます。また、特に「実践型インターンシップ」では、生のビジネスの現場に身を置くことになり、営業や市場のニーズ調査、商品開発、ブランディングを行うなど、アルバイト

トとは違うレベルで企業と関わり、その手法を実践の中で学ぶことができます。その中で失敗・反省は自分の大きな糧になっています。他にも、実際に社会人と関わる機会が多くなるため、「働くとは何か、自分は何がしたいのか」といった自身の考えを深める場ともなります。

Q. インターンシップにはどうして参加しようと思ったのですか？



A. 大学2年後期の段階で、それまで行っていた学生団体の活動とは別に、「もっと社会に出たい！」「社会に出て働きたい！」という思いが芽生えました。そんな時に KAKUMA NO HIROBA という企業のインターンシップ、それも長期実践型のプログラムを知る機会がありました。ちょうどそれが興味のある業種であり、かつ丁度いいタイミングだったので迷わず門を叩きました。業種、タイミング、さらには営者自身が魅力的であることは

インターンシップ先を選ぶ上で大きなポイントだと思いますので、そのあたりには是非、注目してみてください。

Q. インターンシップと勉強との両立は可能ですか。

A. 可能です。全体として勉強に割ける時間が減るのは事実ですが、Google カレンダーなどで時間の管理をまめにすれば空き時間を上手く有効利用することができます。

Q. 海外インターンシップにはどのようなものがあるのですか。

A. まず海外で活躍するグローバル企業の現地プログラムがあり、海外での商品開発やマーケティングを行うことができます。また、NGOや国連関連のものも多く、発展途上国での学習支援など、様々な活動が各組織で用意されています。



Q. インターンシップで苦労したことは何ですか。

A. 私が参加していた長期実践型インターンシップでは、営業や資料作成、プレゼンテーションやヒアリングを一部任されました。すなわちそれは座学や学生団体とは異なり、「商売」、つまりお金のやり取りの最前線に行くことであり、それ相応の責任が発生します。法人営業や資料作成も当然初めての経験であり、最初は上手くできないことだらけでした。ただ、そうしたトライ&エラーを繰り返していく中で、確実に身に付くものが多く、良い経験をさせて頂いたと思っています。

Q. プレゼンの能力は大学で学んでいく中で身につけていきますか。

A. 学ぶことは可能ですが、そのためには自分から意見を述べる積極性が不可欠です。プレゼン能

力は座学だけでは決して身に付かないものです。実践し、反省し、改善する、その繰り返しあるのみです。

Q. ボランティア活動を通して学べたことは何ですか。



A. 僕自身は「ボランティアさぼーとステーション」という、東北、中でも岩手県陸前高田市および同市広田町へのボランティアバスによる復興支援や、石川県内での防災減災の普及活動を行う団体に属しています。ボランティア活動の周辺で出会う大人の方々は「自分のやりたいことを実行する」方々。企業のような利益追求とは縁遠い運営の上でお金は必要ですが、お金それ自身が

目標ではないボランティアな活動を行う大人や同世代に合うと、自分自身の「働く」ことの意味が大きく更新されていきます。「お金のため」ではなく、あくまで「やりがい」「社会的意義」がインセンティブ(=行動する上での誘因)であるボランティアは、復興支援系に問わず、地域貢献系、国際貢献系、学内支援系それぞれで自分の視野を確実に広げてくれるものです。

Q. ボランティアさぼーとステーションの活動は計何日ですか。

A. 学期中は金曜の夜に金沢を出て土曜の朝から日曜の正午まで現地で活動し、そこから金沢への帰路につき、日曜の夜 23 時頃に金沢に到着します。よって答えとしては一度の訪問につき丸二日間です。夏休みについては三日間のプログラムが用意されています。

Q. 東北に行って感じたことは何ですか。

A. 僕が初めて東北の岩手県陸前高田市を訪れたのは 2012 年の 10 月、発災から 1 年 7 か月経過した段階でした。山積みになった瓦礫がそこかしこにある、という時期では既になかったですが、「荒涼」という表現しか浮かばないような、かつて街があったとは到底思えない空間がそこには広がっていました。



以降 10 回以上東北へと赴き、様々な写真、また現地の方の声に接して、少しずつ「被災地」ではない、本来の東北を少しずつ知るようになっていきました。現在では街をも呑み込む災害の恐ろしさを身を以て知ると共に、これから東北が、またそこに住む方々がどうなっていくのかを自分自身の問題として応援する気持ちです。

Q. 経済学類生なのにどうしてボランティアをしようと思ったのですか。

A. 東日本大震災があった2011年3月11日、僕はまだ高校2年生でした。その頃から漠然と「何かしたい」というような思いがありましたが、そこから一年間は最後の部活や大学受験などがあり、特に何もできませんでした。その後、大学へと進み、縁あって現在の団体と出会ったわけですが、きっかけは「何かしたい」という義務感に近い感情です。また、そもそも僕が経済学類に入った理由は社会科学の分野に関心があったからであり、「お金儲けがしたい」「起業したい」といったビジネスライクな動機が原点ではありません。ですから、僕の中で「経済学専攻だから」という理由はボランティア活動を遠ざけるものにはなりませんでした。



**キャンパスで皆さんにお目にかかれることを
楽しみにしています！**

**2014年度 金沢大学経済学類
オープン・キャンパス 学生メンバー 一同**